

それでは、議案以外の資料についてご説明します。

【市長】

資料No.7「裾野市保護者等相談窓口実証事業」についてです。

このたび、裾野市では、「保護者等相談窓口」を設置し、保護者や地域の方からの連絡対応を行っていきます。

これは、文部科学省の「学校における保護者等への対応の高度化事業」の採択事業者であるトランス・コスモス株式会社と連携し、保護者や地域住民からの学校への問い合わせ業務に対応していく実証事業です。

詳細は、学校教育課 山本係長より説明いたします。

【学校教育課 山本係長】

学校教育課山本です。本事業を行う背景としましては、社会環境が多様化、複雑化する中で、近年、保護者や地域の方からの様々な問い合わせに対して学校だけでは解決が難しい事案が、学校運営上の大きな課題になっています。その認識の下、様々な専門家と連携した行政による支援が必要になっています。また、学校現場における電話等による相談の連絡対応が、必要以上に教職員の負担になっているとの指摘もあり、学校における働き方改革を加速させる観点からも、案件を専門的な機関が一度整理し、保護者等対応の質の向上、加えて、教職員の負担軽減や業務効率化が求められています。

そこで、保護者や地域住民からの問い合わせ対応の際に、専門家による相談窓口を新設することで、学校では対応が難しい事案を早期解決に導くことができたり、教職員の連絡対応の業務効率化(働き方改革)が図れたりすると考えています。そこで生み出された時間で、教職員が子どもたちと向き合うことのできる時間を増やし、教職員と保護者、地域が連携したより効果的な教育活動を行うことができるようにしていきます。

相談方法としましては、保護者、地域住民の方より複数のチャンネル(電話、メール、チャット、LINE)にて問い合わせを受けることができる窓口を構築し、多くの問い合わせができる体制を構築します。

相談、問い合わせがあったら、保護者は各学校に設定された「保護者等連絡窓口」に電話をし、ここで、校則等の定型的な質問については速やかに回答を行います。

学校での対応が必要な案件、学校固有の事案については、学校に連絡をして対応します。内容によっては、コーディネーターやカウンセラー、スクールロイヤー等、経験豊かな学校管理職OB等の活用も含め、様々な専門家と連携して対応していきます。

この実証事業は、令和7年6月から令和8年1月末まで行います。以上で説明を終わります。

【市長】

次に、資料No.8「ル・マン24時間レースパブリックビューイング in 裾野」についてです。

世界3大自動車レースの一つであるル・マン24時間耐久レースが、今年は6月14日から15日にかけて開催されます。裾野市では、トヨタ自動車様との共催で、レース映像の上映をメインとしたパブリックビューイングイベントを6月15日に開催いたします。

昨年は、レースの模様を午後8時までお届けしましたが、多くの御来場者の方から、レースの終了まで観たいという御要望をいただきました。そこで今年は、午後8時までは裾野市民文化センターを会場に、8時以降は文化センター隣の生涯学習センターに会場を移して、レースが終了する午後11時まで、その模様をお届けします。

ル・マンを走行するマシンはトヨタ自動車株式会社東富士研究所で開発されています。皆さんと一緒に声援を送り、メイド・イン・スソノの技術が世界に羽ばたく様子を映像で観戦します。現地フランスとの同時中継を織り交ぜながら、サーキットの魅力をまるごと感じていただけるイベントです。当日は、ご来場者いただいた方々との記念撮影、お楽しみ抽選会、展示なども予定しています。

ぜひ、事前の告知と当日の取材をお願いします。

【市長】

次に、資料No.9「ヘルシーパーク裾野 オープニングセレモニー」についてです。

4月から、ゆうだい温泉株式会社が新たな指定管理者となり、4月

10日から営業を開始し、運営体制が整いましたので、6月6日(金)にオープニングセレモニーを開催します。

詳細は、産業観光スポーツ課の鈴木主査よりご説明します。

【産業観光スポーツ課 鈴木主査】

産業観光スポーツ課の鈴木です。「ヘルシーパーク裾野 オープニングセレモニー」が、6月6日(金曜日)、午後4時からヘルシーパーク裾野で開催されます。

ゆうだい温泉株式会社による指定管理で、4月10日から営業を開始し、開始当初はお風呂とサウナのみでしたが、徐々にサービスを拡大していき、売店、レストラン、マッサージコーナー、無料コミックコーナーなど、運営体制が整いましたので、皆様へお披露目をさせていただく場として、オープニングセレモニーを開催します。

当日は式典に先立ち、エントランスにて優雅なピアノの生演奏も行われる予定です。更には、来場者特典としまして、セレモニー当日にお越しいただいた方には記念品としてタオルを、7日と8日にお越しいただいた方には、オリジナルステッカーをプレゼントします。なお、どちらも数に限りがありますので、なくなり次第終了となります。

式典後には、館内見学会も予定していますので、ぜひ事前の告知と当日の取材をしていただきますようよろしくお願いします。

【市長】

次に資料No.10「令和7年度すその頂飯プロジェクト」についてご説明いたします。

裾野市では、日本大学食物栄養学科の准教授や学生、さらに女子実業団ランニングチームの管理栄養士などと連携し、アスリートの体に嬉しい栄養バランスの取れたメニューを開発し、「すその頂飯」と称して発信しています。本日は、令和7年度の取組についてご報告いたします。

詳細は、産業観光スポーツ課の川口主任よりご説明します。

【産業観光スポーツ課 川口主任】

産業観光スポーツ課の川口です。令和7年度すその頂飯プロジェクトについてご説明します。

日本大学食物栄養学科の准教授や学生、女子実業団ランニングチームの管理栄養士などと連携し、裾野市の地場産品を活用して開発された食事メニューを「すその頂飯」と称しています。

つらいトレーニングもこの食事で乗り越えてほしい、それぞれの「頂」を目指してほしい、そんな思いが詰まっております。すその頂飯を活用した取組として栄養講座の実施やイベントでの栄養相談ブースの出展などを行ってまいりましたが、令和7年度はしずおか市町対抗駅伝裾野市代表チームのサポートを行います。

主な取組としては、第1回合同強化練習から選手選考を第1フェーズとして、選手や保護者の食生活の見直しを主な目的とし、BDHQ という日常生活の食事に関する質問票による調査とその結果を元とした栄養講座、選手の体組成・栄養相談などの実施。

選手選考後から大会本番までを第2フェーズとして、代表選手・保護者と日大准教授のグループチャットを作成し、日常の食事相談ができる環境づくりと補食提供又はその頂飯試食を計画しています。

以上のサポートで裾野市代表チームの競技力の向上や選手・保護者等の意識改革などが実現できるよう、日大の准教授等と密に連絡を取りながら進めてまいります。

また、しずおか市町対抗駅伝裾野市代表チームでは、メンバーを募集しております。小学生から大人までのメンバー構成となりますので、チラシの QR コードからお気軽にご応募いただけます。

食物栄養学科の准教授による食事に関するアドバイスや相談する機会には中々ないと思います。

走るのが得意ではない方やこれから始めたいという方も、まずは見学だけでも構いませんので、各合同練習会に足を運んでいただけると幸いです。メンバー募集や取組のご紹介、合同強化練習の取材などよろしくお願いします。説明は以上です。